

総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和元年6月18日(火)
11時29分開会 11時55分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：奥秋康子 副委員長：山下清美
委員：深沼達生、佐藤幸一、口田邦男、桜井崇裕
議長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：山本 司、次長：宇都宮学
- 5 説明員
- 6 議 件

(1) 所管事務調査の申し出について
(2) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長（奥秋康子）：本会議で大変お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。只今から総務産業常任委員会を開会する。

（1）所管事務調査の申し出について

委員長：ご案内のとおり今日の議題は、9月定例会までの所管事務調査の申し出事項を協議したいので、よろしく願います。委員の皆様においてはそれぞれ考えてきたと思うのでぜひご提案をお願いしたい。

深沼委員：昨年度、北海道全体がブラックアウトになり様々な発電所が機能しなかったということで、北海道の電力のあり方を調査し、苫東厚真発電所や新しく稼働し始めた石狩湾新港発電所の視察等はいかがか。

桜井委員：昨日山下議員が道の駅についての一般質問をした中で、町長が清水公園を休憩型観光ということで街中に呼ぶというような構想も考えているということで、道の駅を作らないという考えのようであり、清水公園の活性化を目的とした協議会を作るとのこと。そのような中で同様の取り組みを行っている自治体があれば本町の参考になるのではないかという思い。

口田委員：北海道胆振東部地震における厚真町の災害復興の現状と防災についてはどうか。

佐藤委員：JRの階段の問題については過去に何回か質問をしたが、広報しみずに健康な人でもつらいというようなタイトルで、階段の写真も載っていた。JR十勝清水駅について一般の方はどのようなことを考えているのか知りたい思いもする。

委員長：今それぞれの委員からご提案をいただいた。最初に深沼委員から昨年のブラックアウトを受け、電力関係で苫東厚真発電所や新しく稼働し始めた石狩湾新港発電所の視察をしてはどうかと提案をいただいたがどうか。

桜井委員：前回の所管事務調査の中で、北海道電力の方に説明をいただき経緯を全部調査した。

委員長：本町にとって参考になるような視察内容でなければいけないということではいかがか。

口田委員：いいことだと思うが、北海道電力に行って今後の電力状況はどうなるのかという勉強をするのなら話は分かるが、発電所の視察だけでは難しいと思うがどうか。

加来議長：昨年も震災後に厚真発電所を視察したいという話になったが、北海道電力において災害対応のため視察の受入が難しいとなった経緯がある。泊発電所についても同様。電力の新しい取り組みとして、上士幌町等が国から採択を受けマイクログリッド方式という小規模自治体で電力の地産地消をしていこうという取り組みを行っている。道内では釧路市と上士幌町が取り組みを行っている。

委員長：今議長からアドバイスをいただいたがどうか。

桜井委員：電力の関係について、最近新聞報道でFITをやめるという国の方針が出た。そういった部分については本町もバイオマスで関係するが、国の政策なので北海道電力に聞くのがよいかどうか。

加来議長：バイオマスの関係については、今回の議会で所管事務調査の報告が終わったばかりなのでそれについてまた調査するのは好ましくないと思う。

委員長：議長からアドバイスをいただいたが、バイオマス発電の関係や電力の関係も報告をしたばかりなので、せっかくの提案であるが、今回これは難しいということでまたの機会にということではいかがか。

加来議長：電力だけではなく、北海道胆振東部地震の関係で口田委員から出た意見と組み合わせると可能かもしれない。厚真発電所について昨年の時点では、外側から見ただけでもとよいということをお願いしたいが、時期が地震直後だったので無理ということになった。北海道電力は普段から視察には対応していただけるが、去年は胆振東部地震があった直後なので対応できないということであった。今年度はどうか分からない。

桜井委員：口田委員は厚真町やむかわ町など、北海道胆振東部地震における自治体の災害対応状況を見たいということ。先ほど議長が言われた災害関係と組み合わせるのであれば、石狩湾新港発電所を視察するなど電力関係の調査もできる。

委員長：桜井委員から清水公園の再開発という意見もあったがどうか。

桜井委員：それは別の機会でよい。

委員長：佐藤委員から意見のあった十勝清水駅の階段についても別の機会ということでよいか。

(よいとの声あり)

委員長：厚真町付近の災害後の復旧状況と合わせて、石狩湾新港発電所などを現地調査するということがよろしいか。

加来議長：委員から出た意見の大枠としては、災害・防災関係で、胆振東部地震や発電所等を視察できればよいという希望であったが、「防災について」という申し出事項にしておくということではどうか。今後、視察希望先との話し合いを進める中で、管外視察ができないことも想定されるので、その点を含めて了承いただき、防災については、議会報告会でいろいろ課題として出されているのでそれも一緒に検討してもらってもいいと思うので、そのような方向で話をまとめておけば、事務局も対応しやすいと思う。

委員長：視察希望の相手先のこともあり、「防災について」という幅広いタイトルにすれば、議会報告会の中でご意見をいただいた内容についても検討する機会もあるということで、9月定例会までの所管事務調査については、「防災について」としたいがよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：毎年9月の初めに合同作況調査が行われるので、例年どおり「農作物の生育状況について」の申し出も行う。また、突発的な事項に対応するため「その他所管に関する事項について」の申し出も行う。

(2) その他

委員長：その他について皆さんから何かあるか。

(なしとの声あり)

委員長：この次の所管事務調査の内容について、今からある程度考えておいてほしい。道外視察調査となると旅費の都合もあるので、その辺について委員の皆様はどのような考えを持っているのか。

口田委員：今すぐ答えを出すわけにはいかないのですがこういうことが今後あるので考えておいてほしいということではよろしいのではないかと。

加来議長：今道外研修という話が出たが、道外視察は4年に1回できるという申し合わせになっている。今年度は予算措置がないので、この委員会で道外視察が必要であれば来年度以降になる。道外視察調査を実施するのであれば、委員会構成が変わると重複になる方が出るので、もう一方の厚生文教常任委員会とも一緒に時期に実施するとの話し合いをしたうえで決めなければならない。そういうことも含めて今後検討してほしい。

委員長：今から検討いただきたい。

事務局から何かあるか。

山本局長：次回の委員会は7月中になるかと思うが、先日開催された議会報告会と町民との意見交換会で出た意見の振り分けがされるので、総務産業常任委員会で所管する部分の協議を行う予定となっている。その時に合わせて所管事務調査を行うが、今「防災について」という申し出事項に決定したが、具体的にどういう目的で、どういう内容を調査して、どう本町に役立てるかという部分については各自でご検討をいただいております。お持ちよりいただければと思うが確認願いたい。

委員長：本町の防災の実態についても調査したほうよいか。

加来議長：本町の防災計画が作成されているのでそういうことを勉強し、町外へ視察する際には本町との違いを比べた上で調査しないといけないと思う。それを個人で勉強するか、委員会として勉強するかであると思う。

委員長：先に本町の実態を勉強して行ったほうがよりよいと思う。

加来議長：相手方もいるので行けるかどうかも分からない状況なので、状況を踏まえた対応を柔軟にしていれば現状ではないのでは。

佐藤委員：町民との意見交換会の際にも防災の件について質問をされているので、町の現状を確認したほうが良いと思う。

委員長：視察については、相手方の都合もありできないこともあるが、本町の防災についてはしっかり勉強するというので、あとの対応は委員長と副委員長に委任願うということではよろしいか。

(はいとの声あり)

委員長：以上で、総務産業常任委員会を閉じる。